

議会のあり方調査特別委員会 広報検討分科会 記録

開 会 年 月 日	平成 30 年 12 月 3 日
開 会 時 刻	午前 11 時 13 分
閉 会 時 刻	午前 11 時 53 分
出 席 委 員 名	◎浜口 和久 ○吉井 詩子 宮崎 誠 久保 真
	北村 勝 岡田 善行 品川 幸久
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	—
担 当 書 記	野村 格也
協 議 案 件	1 いせ市議会だより第 54 号の発行について
	2 議会の ICT 化について
	3 その他
説 明 者	山口調査係長、野村主事

## 会議の概要

浜口会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り、「いせ市議会だより第 54 号の発行について」及び「議会の ICT 化について」を議題として協議し、議会のライブ（生）放送に関しては、慎重な議論が必要となるため、もう少し調査検討していくこととなり、分科会を閉会した。

なお、詳細は次のとおり。

## 協議の内容

### 1 いせ市議会だより第54号の発行について

#### (1) 発行日程について

2月15日号の広報いせと同時配布を予定した日程が了承された。

なお、次回の広報検討分科会は、12月19日水曜日の本会議閉会后、次々回は、平成31年1月16日水曜日の午前10時に開催することに決定した。

#### (2) 掲載記事構成について

記事構成について、事務局から説明があり、異議なく了承された。

#### (3) 表紙の題字について

修道小学校児童から提出された習字の中から、各委員それぞれ2作品を選び、最も得票数の多い作品に決定した。また、今年度題字を募集した4校のうち、有緝小学校（平成31年5月1日号）、早修小学校（9月1日号）については、年度が変わると賞品の贈呈等で合理性に欠けるため、この2校については翌年度の発行となるが、今年度内に採用作品の決定をしておくことを確認した。

### 2 議会の ICT 化について

#### (1) 書画カメラの活用について

前回、議場の書画カメラ活用の協議がされ、要領の改正については、現状の解釈のままで運用ができるものという判断に至ったことの説明が事務局からあった。また、11月26日の議会運営委員会において、当分科会の協議を受けて、同様に書画カメラの活用について議論がされ、12月定例会からパネル等取扱い要領と同様に、書画カメラを活用していくことが決定されたことの報告があった。

#### (2) 議会放送について

議会のライブ（生）放送に関しては、実施にあたっては全議員の合意形成も含めて、慎重な議論が必要となるため、当分科会内でももう少し調査検討していくこととなった。また、常任委員会等の録画放送を優先して実施してはどうかとの意見もあり、これについても同様に各会派に一度持ち帰り、分科会外委員の意見も集約したうえで、今後協議していくことを確認した。

### 3 その他

会派での視察や研修の所感報告について、市民から公開を求める意見があったことが紹介され、今後どうしていくか議論が必要であることの提案があり、各会派の意見も取り入れていくこととなった。

次回開催は、12月19日水曜日の本会議閉会後に開催することと決定し、閉会した。

上記署名する。

平成30年12月3日

会 長